



鈴木 りつか 議員 無会派

問 中学生自転車通学の安全確保を

答 交通安全指導と通学環境の改善

○中学生の自転車通学の安全確保について、以下を問う。

問 現行のルール、安全指導の内容は。

答 **〔教育部長〕** 安全装備が正常に機能しているか確認し、ヘルメット着用、通行区分、並進禁止、夜間のライト点灯等を指導。

問 地域住民からの苦情への対応は。

答 住民から寄せられた声を共有し、該当生徒へ指導。

問 令和8年4月1日の道路交通法改正が通学に与える影響は。

答 自転車の交通ルールがより明確化され違反行為への指導が強化される。

問 法改正を踏まえた指導内容の見直しは。

答 危険行為の具体的例示を挙げ、指導を行う。

問 生徒および保護者への周知や地域連携による安全指導の充実は。

答 PTA との連携など、家庭、地域、学校が一体となり、通学環境の改善に努める。



イメージ

問 生成 AI の教育利用を安全に

答 安全性確保とルール整備が必要

○生成 AI の教育利用について、以下を問う。

問 国の方針を踏まえた検討状況は。

答 **〔教育部長〕** 児童生徒の学習利用、教職員の業務効率化、校務導入の具体的な運用策を整理する。

問 不適切利用の予防策は。

答 利用範囲の明確化、フィルタリング機能の活用、ログ管理などの対策。

問 安全運用のためのルール整備は。

答 学校側でアカウント管理、個人情報を入力しない等のルールを徹底。

問 ※ AI リテラシー教育の進め方は。

答 生成 AI の特性や限界、情報の真意を見極める力、著作権や個人情報保護など情報モラル教育を通じて指導できるよう教員研修を行う。

問 業務 DX の推進は。

答 活用環境の整備を進める。

問 市長の見解は。

答 **〔市長〕** 教育の質向上と業務効率化の可能性があるが、安全で適切な利用環境やルールの整備が必要。国の方針に沿い、慎重かつ前向きに活用を進める。

※人工知能（AI）を正しく理解し、仕組みや特性、課題を知った上で、安全かつ主体的に活用する力を育てる教育。



イメージ